



ランク	人権課題	コード番号	題名	内容	視聴時間	DVDを利用して研修を行われた方の感想など
1位	様々な人権課題	い-29	イキイキ働くための コミュニケーション・シリーズ 職場のコミュニケーション・スキル ②アサーション 上手な気持ちの伝え方	お互いの気持ちをや言いたいことを、相手を傷つけずに伝える相互尊重の方法であるアサーティブなコミュニケーションについて事例を交えて学ぶ教材です。 ・4つの自己表現タイプ ・アサーティブなコミュニケーション・スキル(傾聴力、質問力、DESC法) ・テレワークのコミュニケーション 他	25	・会社でコミュニケーションが重視されているので勉強になった。また、時間が短くまとめられており、忙しい中でも人が多く集まった。(企業) ・構成がドラマ仕立てでわかりやすくまとめてあった。(県所属)
2位	人権全般	た-15	誰ひとり取り残さないための 職場の人権シリーズ① よかったら“想い”を聴かせて	この教材では、「ハラスメント」をはじめとした職場における6つの人権テーマを切り口に、相手の想いを聴くこと・自分の想いを伝えること・お互いを受け止め合うことの大切さを登場人物たちと共に考えていきます。職場の誰ひとり取り残さないために、自分も相手も大切にするためにはどういったコミュニケーションが必要なのか?ドラマを通して学んでいく映像教材です。	29	・様々な人権について分かりやすく編集されていた。事例が分かりやすかった。受講者から研修により知識の再確認ができた、という意見があった。(企業)
	人権全般	レ-96	人権のすすめ	この教材は、職場における『ハラスメント』『いろいろな性』『障害者』をテーマに取り上げ、それぞれ独立したミニドラマでの「気づき」を通して、多角的に人権問題を学んでいく映像教材です。	25	・短編で間延びしないで見ることができた。ワークシートが各編で具体的に設定されており、それを利用した。(県所属) ・気づかされる場所が多かった。受講者はうなづいたりする姿が見られた。(企業)
3位	様々な人権課題	は-32	ハラスメントを生まない コミュニケーション グレーゾーン事例から考える	一見、コミュニケーションが良好に見える職場にも、ハラスメントの落とし穴はひそんでいます。もしかしらば、普段の何気ない言動が、知らぬ間にハラスメントになっているのかもしれない。 ハラスメントを生まないために、どのようなことを意識すれば良いのでしょうか。 様々な事例をもとに、それぞれの立場の考え方や、気づきのポイントを示し、職場でのコミュニケーションのあり方を考えていきます。	25	・業態とは異なるが、職場内のコミュニケーションの視点であるため、自事に置き換えて視点することができ、ポイントが理解しやすい。手引きがあることが大変ありがたく、利用しやすいと思う。(企業) ・視聴者の方は、日常生活に置き換えて考えておられた。(その他団体)
	様々な人権課題	は-35	パワハラのない風通しの 良い職場をめざして ハラスメントを生まない 職場のコミュニケーション	公的機関への「いじめ・嫌がらせ」の相談件数が増え続けるなか、大切なのは、管理職と一般社員が「何がパワハラに当たるのか」同じ認識を共有することです。本作品では、職場のハラスメントやパワハラの判断基準、適切な指導方法やコミュニケーションについて丁寧に解説しています。	34	・部下から上司に対してパワハラとなる例が盛り込まれていた。グループワークでは、個別事例毎に再生し、ケース検討ができた。基本的なハラスメントへの理解と、多様なハラスメントケースが学べた。(県所属)
	同和問題	お-19	お互いを活かし合うための人権 シリーズ③ 今そこにいる人と、 しっかり出会う —同和問題—	同和問題はわが国固有の人権問題であり、日本の長い歴史の発展の中で形作られた身分差別によって、形成されたものです。生まれた場所や住んでいる場所だけで偏見をもたれ、差別されるという理不尽な差別といえます。 いま、現代社会でもさまざまな差別の問題が起こっています。本作では、同和問題について理解を深めていただくと同時に、同和問題をモチーフに、人と人がしっかり出会い、差別とどう向き合っていくかについてのヒントになる作品となるように構成しました。ドラマ形式で描いていますので、登場人物の気持ちに寄り添って視聴することができます。	24	・同和問題というテーマから、高齢者や外国人等への偏見を持つことへの悪さにも触れており、普遍的な人権意識の啓発にもつながる。 DVD視聴のあと、より自分ごとと捉えてもらうため、島根県の人権意識調査の結果を紹介。公務員から差別的な対応や言動を受けたとする人の割合など、自らの行動を今いちど振り返り、今後も気をつけて業務にあたる意識を持つような数字について触れた。(市町村)
6位	患者及び感染症等	レ-71	人権アーカイブ・シリーズ ハンセン病問題 ①～過去からの証言、 未来への提言～ ②家族で考えるハンセン病	1. ～過去からの証言、未来への提言 ハンセン病問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等の人権教育・啓発に携わる職員等が身に付けておくべきハンセン病問題に関する歴史の経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめた啓発映像です。 2. 家族で考えるハンセン病 ハンセン病問題に焦点を当てた啓発映像です。ドラマを中心に、関係者の証言や解説等を交えて分かりやすく簡潔にまとめています。	76	・中学生と当事者のやりとりを通して、当事者の思いが伝わってくるころがよい。 ・忌避意識があることを感じることができるところがよい。(市町村) ・最近SNS等で、深く考えずに誹謗中傷する人がいて、登校拒否になったり、自殺にまでなる悲しいことが多くなっています。DVDの中で「人は愛をもらわないと生きていけない」という言葉がありました。幼少期の頃から、お互いを思いやる気持ちが芽生えるように育てる！大きな課題だと思います(まちづくりセンター)
	障がいのある人	レ-98	障害のある人とともに —学ぶ、働く、 暮らすことを考える—	障害のある人が、学校、職場、地域の中でどのように過ごしているか、どのような困りごとがあるか、理解を深めるエピソードを取り上げました。また、障害のある人だけでなく、周囲の人も困り、戸惑う場面を想定することで、障害のある人を、「支援する対象」ではなく「社会に共にいる存在」として捉えることを目指しています。	13	・障害者とその周囲の人、それぞれの立場に立って考えることができた。考えること前提で作りになっていたこと、場面が「職場」ということで状況を想定しやすかったことから、誘導なしでも自然と様々な意見が出た。 ・視聴者の方より障害者に対して「かわいそう」「がんばっている」と無意識に思ってしまう偏見に気付いた。障害を理由に、本人の能力を活かせない職場は、双方にとって損失が大きい。(県所属)

令和6年度新着DVDと併せて、今後の研修等でお役立てください



※出典：東映映画の内容についてはチラシを引用  
その他の作品の内容については制作会社の許可有